

第689回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 牛津川遊水地内山崎排水機場・山崎水門改築工事 [九州地整]

…… 小城市小城町

- ・牛津川流域は低平地のため自然排水されにくく、内水氾濫に対して脆弱な地形であるため、平成24年7月の九州北部豪雨では、床上浸水2戸、床下浸水15戸、浸水面積400haの被害が発生した。
- ・牛津川流域における内水氾濫対策には、本川もある程度の流下能力が必要であったため、新たに、牛津山崎排水機場及び山崎水門を設置することとした。・激特事業の一環として、河道掘削、引堤で対応できない流量を一時的に貯留するため、牛津川中流域に牛津川遊水地事業を計画している。
- ・牛津川左岸を仮締切り堤の施工を行い、有明沿岸特有の軟弱地盤における排水機場・水門の施工、仮締切り並びに基礎杭打設等における打設計画の工夫等を行い、現在、機場及び水門本體工を施工中である。



2. SAGAサンライズパーク整備事業 [佐賀県]

…………… 佐賀市日の出

- ・2024年の「SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の開催を契機として、SAGAサンライズパークの整備を実施。
- ・この「SAGA サンライズパーク」は、県民がスポーツを「する」楽しみ、様々な競技で活躍するアスリートを「育て」、その活躍を「支える」喜び、さらにトップレベルのスポーツを「観る」感動など、それぞれのスタイルでスポーツを楽しむことができる場所とした。
- ・また、コンサートなどのイベントや全国規模の学会・展示会が開催できる「SAGAアリーナ」や、スポーツをしない方々も「憩い・にぎわう」空間を楽しめる場所を整備し、様々な体験ができ、夢を実現できるような空間づくりを進めている。



3. 富士しゃくなげ湖ボート・カヌー施設整備事業 [佐賀市]

…………… 佐賀市富士町

- ・2024年に佐賀県内で開催される国民スポーツ大会に向け、佐賀市が嘉瀬川ダムの人工湖「富士しゃくなげ湖」にダム湖及びその周辺に競技施設の基盤整備工事を実施。
- ・「富士しゃくなげ湖水競技場」には、基本コースとしてボートは1,000m 8レーン、カヌーは500m 9レーンを整備。コース幅を変更することで、全面ボートコース、もしくはカヌーコースなどに変更できる仕様になっている。
- ・工事の課題は、急峻で複雑な地形において危険を伴う切土や法面工事が多くを占めたことから、作業員の安全確保と土量を適正に把握することであった。ICT土工を活用することで、丁張作業が不要となり、安全かつ効率的な作業を行うことができた。



4. 大川佐賀道路事業 [九州地整]

…………… 福岡県大川市～佐賀市嘉瀬町

- ・有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市の三池港と、佐賀県の佐賀空港（九州佐賀国際空港）エリアを結ぶ広域交通ネットワークの形成を目的とした域高規格道路。
- ・大川東IC～大野島ICの延長3.7kmは2020年3月に開通。
- ・このうち大川佐賀道路 大野島IC～諸富IC間は、国土交通省が整備する自動車専用道路としては初めて福岡県と佐賀県の県境を越える区間となる。
- ・有明海軟弱層における、地盤改良工法（深層混合処理）を取り入れ、現在も地盤改良を施工中。

